

第1回 内灘町子どもの権利委員会 会議録（要旨）

【日 時】 令和7年8月8日（金）10：00～12：00

【場 所】 内灘町役場 3階 301・302会議室

【出席者】 委員 浅野委員、藤田委員、松川委員、美野委員、上前委員、岡田委員、西村委員、杉谷委員、能戸委員（9名）

事務局 桐山教育長（挨拶後退席）

文化スポーツ課 中村課長、大久保課長補佐、長尾主事

【内 容】

1 委嘱状の交付

2 開会挨拶

教育長 桐山 一人

3 議件

（1）委員長・副委員長の互選について

委員長は浅野 秀重氏、副委員長は松川 美衣 氏が就任した。

（2）委員会設置の経緯と今後の進め方について

会議資料に基づき事務局より説明した。

<意見・質疑応答>

委 員）子どもの権利委員会とは何か。委員会の目的や目標は何か。

事務局）内灘町では、全ての子どもが幸せに暮らせるまちづくりを進めていくため、日本国憲法や世界の児童の権利に関する条約をもとに「内灘町子どもの権利条例」を定めている。この条例の理念を実現するために、内灘町で取り組めることは何かを考え、目標を定めたものが推進計画となる。子どもの権利委員会では、令和3年3月に策定された第2次内灘町子どもの権利条例推進計画の実施状況を検証し、第3次計画策定に向けて、計画に必要なものを議論する。委員会でいただいた意見やパブリックコメントなどを反映させ、最終的には、3月までに第3次計画（案）を町教育委員会に提出する。

委 員）委員の役割はどのようなものか。

事務局）計画を策定していく中で、それぞれ所属されている様々な分野からの視点で必要と感ずること等、意見を述べてほしい。

(3) 内灘町子どもの権利条例推進計画に係る施策の実施状況の検証及び
計画の見直しについて

会議資料に基づき事務局より説明した。

<意見・質疑応答>

委員) 全体評価ではなく、施策ごとの評価があった方がよかった。

一つ一つの取り組みに対して実施状況を確認した際に、よく取り組めたものと取り組めなかったものがあると思う。細かな評価が必要だと思った。

委員) あまり取り組めなかった場合は、なぜできなかったのかを担当課に聞いた方がよい。各課の実情と取り組みをもっと確認した方がいい。

委員) 計画を立てる前に現場がどのようなになっているかリサーチが必要だと思う。

委員) 今回策定する計画には、震災後の社会について、子どものケアなど復興・復旧の視点が入ったものや国の教育振興基本計画の中にあるウェルビーイング（みんなが幸せな状態）の視点を盛り込んだ方がいいと考えている。

委員) 内灘町でこのような素晴らしい条例があるのに、認知されていないのはもったいないと思う。子どもの権利のパンフレットを保育園に入所する園児の保護者や小学校へ入学する児童の保護者の方へ渡すのもいいのではないかなと思う。

委員) パンフレットがあることを初めて知った。教職員やその他の団体に所属されている方の認知もまだまだ低いのではないかなと思う。よりいろいろな立場の方の認知度を上げるにはどうしたらよいかの視点も必要だと思う。

委員) アンケート等で、子どもたちはどのような風になればいいと思っているか、子どもにとって欲しい権利は何かを聞き、子どもたちの意見を取り入れ、反映させたものを計画の基本施策に盛り込めばいいと思う。

(4) 子どもの権利に関するアンケート（案）について

会議資料に基づき事務局より説明した。

内容については一定期間を設けて事務局に意見を寄せることで合意した。

<意見・質疑応答>

委員) 保護者の中でも、調査対象の学年で複数のお子さんがいらっしゃる方も多いと思う。子どもによって当てはまる項目が変わるため、そのケースに対応できる内容にしないといけないと思う。

- 委 員) 大人のアンケート対象は保護者だけでよいのかも検討した方がいい。
- 委 員) 子ども用のアンケートにはヤングケアラーに関する質問があるが無記名であれば悩んでいると回答があっても助けることができないのではないか。
- 委 員) 現在、内灘町ではヤングケアラーと把握している子はいない。子どもたちはそもそもヤングケアラーを知らないことが多い。知らない子へ、このような内容がヤングケアラーになると周知し、気づいてもらえるきっかけに繋がるのではないかと思う。
- 委 員) ヤングケアラーの他にも不登校やいじめ問題など他にも問題がある。それらの情報をキャッチするという視点で、記名式にした方が支援や解決に繋がり良いのではないかと思う。
- 委 員) 無記名の方が悩みなど答えやすいのではないかと思う。
- 委 員) アンケートを配布する際に、子どもの権利のパンフレットも一緒につければ、子どもの権利条例の認知度向上に繋がるのでは。
- 委 員) アンケートの実施協力をお願いを学校にすることも考えると、小中学校でのアンケートの実施は9月以降でないといけないと思う。
- 事務局) いただいた意見をもとにスケジュールは見直しして、再度調整したい。また、本委員会で出た意見の他にも、アンケート案を改めて確認して、このようにした方がいいという意見も出ると思うので、一定期間意見を募集したい。

一 同) -----特に異議なし-----

(5) その他

事務局より、スケジュールの中で委員の皆様の意見を求める期間を設けてはいるが、その期間以外でも何か気づいたことや意見があれば是非事務局の方へ伝えていただきたい旨のお願いをした。

4 閉会